

# 令和6年度 海洋教育・ESDに関する保護者アンケート結果

## 1 気仙沼市が進めている海洋教育について、鹿折小学校が取り組んでいることを知っていますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く
保護者	27.1%	54.2%	18.6%	0%

## 2 学校で取り組んでいるESDの取組について知っていますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く
保護者	11.9%	49.2%	37.3%	1.7%

## 3 お子さんが学校で行っている地域の学習についてお子さんの取組を知っていますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く
保護者	22.0%	55.9%	20.3%	1.7%

## 4 海洋教育が学力向上につながっていると思いますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く	分からない
保護者	16.9%	55.9%	8.5%	1.7%	16.9%

## 5 海洋教育がお子さんの地域（鹿折、気仙沼）の理解につながっていると思いますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く	分からない
保護者	32.2%	55.9%	1.7%	3.4%	6.8%

### <考察>

- 海洋リテラシーについては、保護者が身に付いていると感じているものは、海を体験し、親しみをもつことや「食」を通じて生命の維持を理解するといった科学的な選択が多いのに対して、身に付けさせたいリテラシーは、気仙沼の未来に向けた防災や災害と復興の歴史が多いという結果でした。防災について考えたり、災害と復興について知識を深めたりすることで、東日本大震災の伝承の立場に立った学びの機会を設けていかなければならないと考えます。
- 保護者の方の海洋教育の認知度は高いが、ESDはあまり高くはない結果でした。また、海洋教育、ESDどちらも、学力向上や地域の理解につながっていると感じていることも分かりました。本校では、教育活動全体を通してESDを推進しています。下欄の「ESDって何？」をご覧ください。

## 6 ESDが学力向上につながっていると思いますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く	分からない
保護者	10.2%	49.2%	16.9%	1.7%	16.9%

## 7 ESDがお子さんの地域（鹿折、気仙沼）の理解につながっていると思いますか。

	よく	まあまあ	あまり	全く	分からない
保護者	22.0%	49.2%	5.1%	5.1%	18.6%

## 8 身に付いた海洋リテラシー（回答割合が高いもの）

保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>気仙沼市の海に触れ、実際に海を体験し、親しみをもっている。</li> <li>海は「食」を通じて私たちの生命を維持していることを知っている。</li> <li>海の生き物の生命がつながっていること知っている。</li> </ul>
-----	--

## 9 身に付け（させ）たい海洋リテラシー（回答割合が高いもの）

保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>気仙沼のこれからの未来に向けた防災について考えている。</li> <li>気仙沼市の海に触れ、実際に海を体験し、親しみをもっている。</li> <li>海が地域にもたらした災害と復興の歴史を知っている。</li> </ul>
-----	---

### ESDって何？

ESDというのは、「持続可能な開発(SD)＝持続可能な未来社会づくり」のため教育(E)ことで、英語表記の **E**ducation for **S**ustainable **D**evelopment の頭文字をとって、**ESD** といいます。最近では、**SDGs**という言葉をよく聞きますが、SDGsは、「持続可能な社会にするための目標」のことです。

本校では、持続可能な未来社会づくりに必要だとされる「情報を収集・分析し、結論を出す力」「未来像を予測して計画を立てる力」「多面的・総合的に考える力」「コミュニケーション力」「他者と協力する力」「つながりを尊重する態度」「進んで参加する態度」を育てることを意識した教育活動を行っています。

探究学習において、地域の現状から未来を見つめ、課題となることを探り、解決の方法を考えたり身近なことから行動したりすることや、特別活動の中の委員会や運動会などで、目標を立て、その目標をどのように達成していけば良いかを考え、協力して実行することもESDに含まれます。

ESDは、地球温暖化の急速な進行、生物多様性の危機、資源の枯渇など様々な問題が山積み、未来への見通しがもてなくなっている現代の中で、未来を考え、行動する力を身に付けさせる教育です。